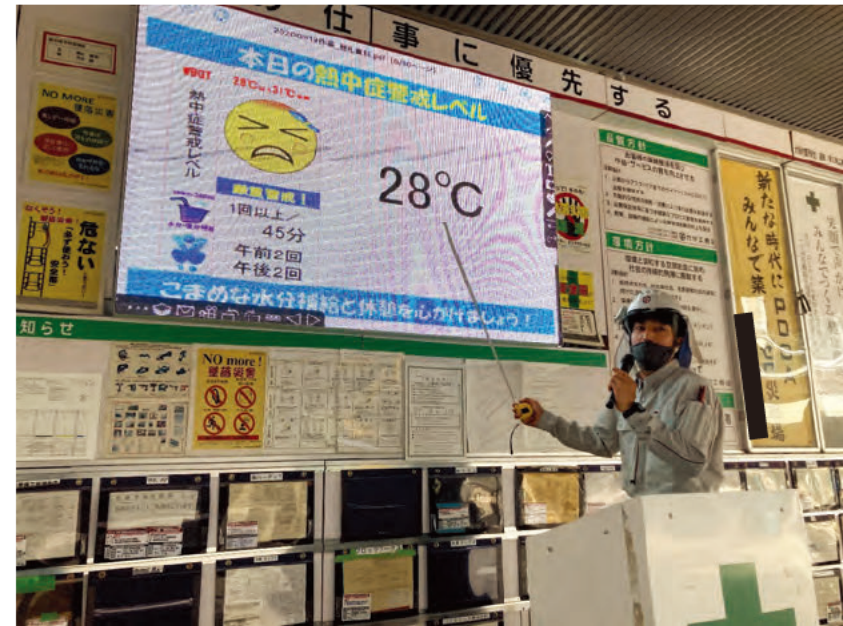


現場の各所にクールダウンスペースを設置し、スポーツドリンク及び経口補水液を完備するとともに、場内各所に熱中症対策施設マップを掲示し、施設の「見える化」を図った。また安全通路上にWBGT値計測計を設置し、数値を計測しながら現地情報を取り入れた熱中症危険指数を朝礼で紹介することで予防情報の「見える化」を図った。

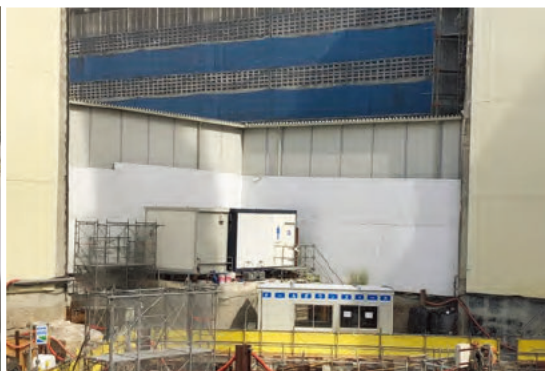
【熱中症施設見える化マップ】



朝礼時の熱中症情報の「見える」化



スポーツドリンク・経口補水液を完備



基礎躯体工事においてもクールダウンスペースを設置し、積極的に活用



WBGT値の「見える」化